

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権啓発推進事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例, 鳴門パートナーシッププランⅡ(セカンド)ステージ	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 6年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民など						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「人権」に関して理解と認識を深め, 問題意識を持ってもらい, 人権侵害や差別問題を解決し, 市民と行政が一体となって, 互いに助け合い, 支え合い, だれもが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	人権セミナーとして, 人権問題を2回(うち同和問題を1回), 男女共同参画を2回の計4回実施する。セミナー参加者へのアンケートの結果を踏まえ, 講演会形式の啓発だけでなく, スポーツと連携した人権啓発活動を実施する。 ①開催時期を見直し, 他のイベントと重ならないように調整して実施し, 市民が参加しやすい環境を整える。 ②人権啓発活動地方委託事業委託金の要求や執行を見直すとともに, 健康づくり課や子どもいきいき課など関係する各課が所管する各種事業と連携して, お互いの強みを生かした財源措置を講じることで, 魅力的な講師・講演内容によるセミナーとし, より多くの市民に参加してもらう。 ③引き続き, 鳴門教育大学との連携を深め, 共催事業とし, 授業の一部としてセミナーの活用を積極的に働きかける。 ④徳島インディゴソックスなど地元のスポーツクラブと連携した人権スポーツ教室を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		人権セミナーへの参加者数	550	570	570	570	570	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため, 手段としてどのような活動を行っているのか	人権セミナーとして, 人権問題を4回(うち同和問題を1回, 男女共同参画を1回)の計4回実施。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。健康政策課や子どもいきいき課など関係各課と連携し, 魅力的な講師・講演内容に寄るセミナーを1回実施。より多くの市民に参加してもらった。鳴門教育大学との連携を含め, 若年層の参加を図った。 人権の花運動では, 対象となる大麻中学校区の3小学校にて実施。 新規事業として, 徳島インディゴソックス・日赤徳島県支部との連携による「ふれあい人権スポーツ教室」を7児童クラブで実施し, 幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度決算	27年度決算	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	5	5	4	4	4	回
	2	出張出前講座(男女共同参画推進条例含む)実施回数	37	41	40	40	40	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権セミナーへの参加者数	690	495	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		86.8	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	435	0	0	1	436
		全体予算額		0	447	0	0	18	465
		決算額		0	429	0	0	13	442
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1	0.0	686		1,128			

【事務事業名：人権啓発推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	253	442	315	315	315
	うち一般財源	12	13	7	7	7
	人件費	688	686	686	686	686
	総事業費	941	1,128	1,001	1,001	1,001

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	人権セミナーを4回実施し、鳴門市男女共同参画推進条例を含めたセミナーとし、幅広い世代への人権啓発を図った。徳島インディゴソックスとの連携による「ふれあい人権スポーツ教室」では、7児童クラブから、毎年開催(実施)してほしい要望が寄せられた。
	効率性	B:概ね効率的だった	毎年セミナーを開催することで、全ての人権問題について意識が高まっている。また、ふれあい人権スポーツ教室を実施したことで、幼少期の年代へ人権啓発が可能となった。
②成果に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数	
	目標	570	人
	実績	495	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価		B	毎年セミナーを開催することで、全ての人権問題(特に外国人問題や性別違和等)について意識が高まっている。また、ふれあい人権スポーツ教室を実施したことで、幼少期の年代と保護者世代への人権啓発ができ、今後も人権啓発に努める。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	セミナーへの集客が増えるような、魅力ある人権セミナーを開催するためには、市民等が興味や関心をもつ事案に着目し、様々な視点から人権を考えることができるようなテーマを基に講師を招へいすることが大切となる。引き続き県の人権啓発事業委託金を活用して継続実施できるよう、工夫しながら講演による啓発を進めていく。また、講演会形式にとらわれず、他課やスポーツ関係団体等とも連携して市民・子どもたちに対する啓発活動の充実を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	セミナーへの集客が増えるように再度、他課との日程調整を行い、セミナーを開催する。また、さまざまな人権啓発の一環として、「鳴門市男女共同参画推進条例」の説明会を昨年度よりも多く実施する。引き続き県の人権啓発事業委託金を活用して、スポーツ関係団体等とも連携して市民等に啓発活動の充実を図っていく。			
	平成29年度	前年度に引き続き、人権啓発に努める。			